子供たちの活動の場

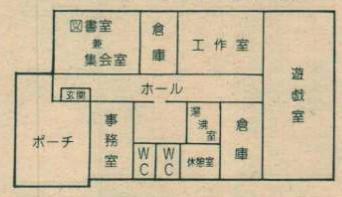
桂城児童センターがオープン

児童、生徒らの体力増進と創造性の育成の場として、昨年八月から建設が進められていた桂城児童センター（桂城小学校東側）が完成し、二月一日から活動を開始します。現在スポーツクラブ、児童育成クラブで会員を募集中で、既に先月十六日発足した発明クラブと共に今後の活動が大いに期待されています。

桂城児童センターは、子供たちに健全な遊び場を与えるとともに、子供会や父兄の活動の場として有浦児童館に次いで、建設しました。

同センターは、桂城小学校敷地の東側に鉄筋造り平屋建て、延床面積四百九十九平方㍍、総工費五千九百十三万円で建設したものです。

▲2月1日から活動を開始します



◀センター配置図

同施設には、子供たちの体力づくりのための遊戯室、創造性を育てるための工作室や図書室などがあります。また専任の児童厚生員（三名）がおり、行事の内容によっては体育指導員や社会教育主事などが子供たちの世話や指導にあたります。

同センターは、二月一日にオープンしますが、現在児童育成クラブ員やスポーツクラブ員を募集中です。

子供たちの体力づくりと創造性を育てる場としてに大いにご利用ください。

＜児童センターを利用できる人＞

6歳ぐらいの子供から中学生まで、子供会、親の会、町内会などの団体、グループです。

＜利用できる時間＞

幼児・児童・生徒
11月～3月　9時～16時30分
4月～10月　9時～17時
親の会や町内会などの団体
9時～21時
（休館日は年末、年始、祝日）
＜利用料＞　無料

◆クラブ員を募集

＜児童育成クラブ＞

内容・留守家庭児童を対象に遊びや体力づくりを主体に仲間や集団づくりをします。

日時・57年2月1日～3月31日、毎週月～金曜日、下校時～16時30分

対象・小学校一年～三年生

人員・三十名

参加料・無料

＜スポーツクラブ＞

内容・体の弱い子、運動ぎらいな子、太りすぎの子供などを対象に運動や遊びを通して体を鍛えます。

日時・57年2月1日から

幼児（三歳～五歳児と保護者）
毎週水曜日10時～12時

小学生（一年～三年生）
毎週土曜日13時～16時

人員・幼児　二十組
小学生　三十名

参加料・無料

※申し込み問い合せは
桂城児童センター
☎49－4708

2月5日から矢立出張所でも

各種証明書が受けられます

花矢支所と矢立出張所間に電送ファックスを設置しました。

今までは、矢立地区の皆さんには、戸籍謄本・抄本、住民票、身分証明証等の証明を取るために、大変ご不便をおかけしていましたが、電送ファックスの導入により矢立出張所でも、二月五日から次の証明を取扱うことになりましたので、ご利用ください。

このシステムは、原本のある花矢支所に送信機を、矢立出張所には受信機を設置し、電話回線を利用して、矢立出張所で申請のあった各種証明を原本のある花矢支所に請求し、その写しを矢立出張所に電送するものです。

従って、花矢地区の方の戸籍及び住民票の謄抄本は花矢支所、矢立出張所のどちらでも交付されます。

ただし、戸籍の届出（婚姻出生、死亡、転籍届等）及び住民異動届は従来どおり花矢支所でしかできませんのでご注意ください。

＜矢立出張所でできる登録・証明＞

・印鑑登録・証明書
・戸籍謄・抄本
・住民票謄・抄本

県内初の少年少女

発明クラブが誕生

県内では初めて、東北でも青森県の十和田市に続いて二番目の〝少年少女発明クラブ〟が先月十六日に発足、二十三日から桂城児童センターを使用し活動しています。

児童、生徒らの持つ創造性を十分に伸ばせる機会と、活動を通して協力の精神、探究心などを養い「人間性豊かな生徒の育成」に役立てようと、市教育委員会、発明協会県支部及び大館分会がタイアップして生まれた同クラブ。市内の小、中学生を対象に、毎月第二、四土曜の午後と同日曜の午前に例会が行われることになっています。

今年度中の計画としては、タコ作りや親子アイデア会などが予定されており、すでに同センターに各種機材も導入され、これをフルに利用しての発明工夫に今から大いに期待が寄せられています。なお、現在会員は小学生（四年生以上）だけですが新年度には、中学生（二年生以下）の会員も募集することが決まっています。

各種相談のお知らせ

・ところ――市役所会議室
・じかん――午前9時～午後4時

＜交通事故＞　2月9、16、23日
＜法律相談＞　2月18日
＜社会保険＞　2月22日
＜国税相談＞　2月25日

市役所をご紹介します

財政課

（課長　萩野三史）

〝財政〟余り聞きなれない言葉だと思いますが、〝財政〟とはどんなことでしょうか。

わたしたちが生活を営むためには、必ず経済を伴いますが、家庭経済の「家計」や、会社などの「私経済」に対して、国、県、市町村の経済は「公経済」又は「財政」と呼んでいます。

私経済も公経済も、多くの場合、金銭で一定の収入を得、それを一定の目的に支出して経済活動を営むわけです。

市役所の場合も、家庭や会社と同じ経済活動によっても金銭を得ますが、そのほとんどは税金や補助金のように法律や市の条例などで定められた方法によって金銭を取得し、公の目的に支出しています。このような金銭の収入支出の予定計画を「予算」といいます。

――財政係では、どんな仕事をしていますか

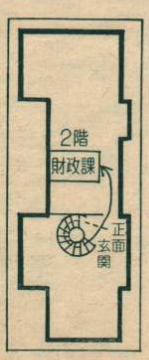
市の財政は、具体的には歳入、歳出予算という形でまとめられますが、財政係では、経済の動向を考えながら、その年度の歳入の見積りをたてる一方、これらの資金を、住民福祉の向上と地域経済活動の発展に役立つように、各課から出された費用や事業費の要求について査定を行い、予算を編成します。このほか、定められた予算が目的通りに使用されるよう監督するのも財政係の仕事です。

なお、市では、毎年五月と十月に予算の執行状況を公表し、広報にも掲載していますのでご覧下さい。

――庶務係ではどんな仕事をしていますか。

市役所、小・中学校、幼稚園、保育園等で使用される事務用品、備品の購入や印刷物等の発注のほとんどは庶務係で担当しています

財政課　☎49～3111
内線265～9



市長のエッセー

No. 44

人間優先の予算づくり

暖冬で生活しやすいことは結構ですが、逆に冬の産業にとっては影響も大きいことでしょう。何とか切り抜けたいものです。

〝仙台サバク〟という言葉

一年に二、三度より雪が降らない仙台。ところが寒さや万一の雪に備えてスパイクタイヤを着用する、そのためにスパイクタイヤが道路のアスファルトの表面を削りとり、ホコリとなって飛び散る。

道路が荒れて困るだけでなく、そのホコリが発ガン性になるとかいうことになれば他人ごとではありません。東北固有の現象であります。大都市仙台ゆえに問題も大きいことですが、当市にも暖冬であれば同じ現象があります。

マイカー族からすれば加害者であると同時に、被害者でもあります。さて一体このことに対応できる制度はあるでしょうか。スパイクタイヤにかわる技術対策は今こそ新しい問題として考えなければなりません。いい知恵はないでしょうか。

新しい年の予算づくりのために多くの市民団体から、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございます。二年続きの冷害を中心に深刻な不況の最中ですから、可能な限り不況克服にお手伝いさせていただくものにしなければと考えます。さて具体的になりますと大変ですしかし根本となることだけは誤ってはならないと凡能をふりしぼっているところです。

価値観の多様化する時代ですが「モノ」を中心に考えるのではなく「人（人権）」を中心にした仕事をする、このことを貫きたいと考えます。高度経済成長はモノの繁栄をつくりましたが、心の豊かさを忘れてしまいました。この遅れをとりもどし、モノと心のバランスをとらなければ社会の不安と不安定は拡大するばかりです。どうかご理解とご協力をお願い致します。

倉山健治郎

〝納税はくらしと市政を結ぶ糧〟